

公益社団法人日本サーフィン連盟
人材の採用及び育成に関する計画

公益社団法人日本サーフィン連盟（以下、「本連盟」という）は、本連盟の掲げる目標の実現を自らの使命として引き受け、その役割を果たすことのできる職員を育成するため、本計画を策定した。実施時期は 2027 年 3 月までを予定し、計画の実施状況を理事会にて定期的に確認し、必要に応じて計画の見直しを行う。

本連盟の目標

本連盟は、我が国におけるサーフィン界を代表し、その中枢機関としてサーフィン競技の健全なる発展ならびにサーフィンの普及を図り、併せてサーフィンを通じて海への関心を高め、健康な身体の育成を図り、国内及び海外のサーファーとの親睦を目的とする。
(定款 第 3 条)

サーフファンを国内外に増大させ、日本サーフィンの国際力を高める。(総合計画 2017 年度～2026 年度計画 1・2 中長期目標)

1. 人事管理

(1) 採用

本連盟の将来的な成長・発展を見据え、業務内容から必要とする人材を導出し、人材確保に適した応募資格や採用試験方法の見直しを適宜図る。

(2) 人事考課

職員の意欲・自主性を高めるため、面談の機会を定期的に設け、職員の定めた目標到達度や業績・能力等を客観的に評価し、賞与や昇格に適切に反映させる。

2. 教育・研修

職員が自主的に能力を伸ばそうとする意欲を高めるため、また、業務に必要な基礎知識や技能を習得させるため、事業や業務内容に応じた教育や研修受講の機会を提供する。

研修の例. DX・情報技術・コンプライアンス・語学・メンタルヘルス・財務など

3. 職場環境

職員の持つ能力を最大限発揮させ、能力を伸ばそうとする意欲を高めるため、心身ともに健康でいられる環境づくりに努める。

(1) 健康管理

定期健康診断やストレスチェックの受診を促し、健康管理に関わる情報発信を行う。

(2) ハラスメント対策

ハラスメント防止に係る研修の実施や、情報発信による啓発を行う。

(2024 年 7 月 16 日理事会承認)